



成果指標				
成果指標	JR駅周辺の整備及び環境美化により利用者をはじめとした観光等の交通アクアアクセス拠点の整備として放置自転車の整理			
指標設定の考え方	清潔なトイレ等の利用や自転車の整理による施設の快適利用による公共施設のクリーン化とイメージアップ化			
区分年度	25年度	26年度	27年度	目標21年度
目標	50	40	0	0
実績	40	29	0	0

自己評価				
自己評価 (担当責任者)	妥当性	目的の妥当性	3	B
		市民ニーズへの対応	4	
		市の関与の妥当性	3	
	有効性	事業の効果	4	B
		成果向上の可能性	3	
		施策への貢献度	3	
	効率性	手段の最適性	3	C
		コスト効率	3	
		受益者負担の適正	3	
課題認識	JR伊予市駅前の自転車整理とともに、伊予中山駅、下灘駅のトイレ等の清掃を行うことにより、市民や観光客が安心して利用できるように努めている。また、自転車等の放置防止に関する条例等の制定について、継続検討していく。			

一次評価				
一次評価 (所属長)	妥当性	目的の妥当性	3	B
		市民ニーズへの対応	4	
		市の関与の妥当性	4	
	有効性	事業の効果	4	B
		成果向上の可能性	4	
		施策への貢献度	3	
	効率性	手段の最適性	3	C
		コスト効率	3	
		受益者負担の適正	3	
課題認識	JR上灘駅のトイレの水洗化がされたことでクリーン化、イメージアップに貢献できるものと思われる。各駅の駐輪場のみならず、施設、トイレの管理を継続的に実施していかなければならない。			

二次評価	
二次評価 (所属部長)	一次評価結果のとおり事業継続と判断する。
意見、課題	

行政評価委員会の答申

外部評価  
(行政評価委員会)

経営者会議の最終判断

事業の方向性

現状のまま継続する。

意見、課題